

## IV 留袖着付 (ボディ競技)

**課題:**ミセスの第一礼装の黒留袖で、帯結びは基本形の二重太鼓とする。

**出場資格:**愛知県内の美容組合員及び従業員(保健所へ従業員の届け出がしてあること)、非組合員、美容師免許有資格者。(申込時に美容師免許証のコピーを提出すること。)  
※出場申込者は美容所に所属し、且つ美容業に従事していること。

**競技時間:**【控室】衿とじ、補整、長襦袢着付までの作業 35分  
【ステージ】留袖着付、帯結びの作業 20分

**競技に関する制限及び禁止事項**(違反した場合は、減点もしくは失格となる。)

### 禁止事項

- ①競技中、選手同士・観客と会話等をしてはならない。
- ②競技中、用具の貸し借りをしてはならない。
- ③競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視委員の指示に従わない等の行為は、退場を命じることがある。
- ④長襦袢及び留袖の衿とじを事前に行うことは認めない。  
(ただし、長襦袢及び留袖の衿とじは、大会当日の朝、競技前に監視委員立会いの下で、長襦袢着付までの作業時間35分間の時間内で行うものとする。)
- ⑤帯はそのまま屏風たたみにすること。
- ⑥帯や着物などに糸印をつけておくことは認めない。
- ⑦極端に完成されたボディ修正用具の使用は認めない。
- ⑧袖の錘用の板紙等の使用は認めない。
- ⑨ものさし類の使用は認めない。
- ⑩競技終了後、選手はボディに一切触れてはならない。
- ⑪助手の使用は一切認めない。  
(競技用具の搬出入のアシスタントは、控室入口で手渡しすること。入室は出来ない。)

### 制限事項

- ①選手の服装は、競技に相応しいものとし、上衣は衿付で白いもの(色、柄は禁止)、下は黒又は濃紺のスカート又はスラックスとする(ミニ丈は禁止する。)。靴は、ヒールの低いものとする(ブーツは不可)。
- ②前身頃の衿の縫目と「おはしより」の縫目はそろえること。(資料図VI参照)

### 準備事項

- ①肌着着用後、控室競技を始める。(長襦袢着付までの作業を、35分間で行う。)

**衣裳類持ち込みに際しての禁止事項**

**(a) 黒留袖**

- ①身幅にアールをつけて胴部を絞った仕立ては認めない。
- ②比翼(裾)は、つけてある所から、裾ふきまで一切表布にとじてあってはいけない。
- ③立て袂の比翼は、胴裏につけてある所から衽つけで表布にとじてあってはいけない。

**(b) 長襦袢**

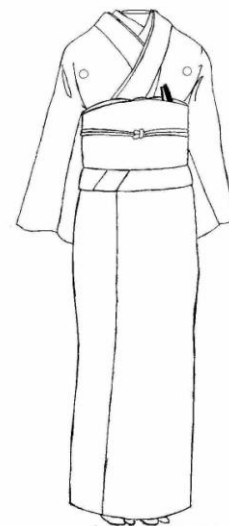
- ①衿は、広衿のみとする。
- ②半衿は、白色とする。(刺繍など不可。)
- ③上下セパレートのもの認めない。
- ④巡礼衿は認めない。
- ⑤後衿の力布は、あってはいけない。

**(c) 帯**

- ①特定のひだの折り癖が強くつけられているものは認めない。
- ②帯ピース、帯アクセサリ、かかえ帯の使用は認めない。

**(d) 着付小物**

- ①肌着、裾よけは特殊な型式のものは認めない。



資料図VI

[注]競技用具は、大会当日の朝、競技前に競技監視委員が厳重に点検を行う。

**その他の注意事項**

- ①アイロンは使用できない。
- ②控室に電源の設備はない。
- ③審査中のボディのポーズは図の通りとする。(資料図VI参照)
- ④ゴム製のひもやベルトは使用不可。
- ⑤力ひもは認めない。
- ⑥競技時間内に出来てないもの(クリップの取り忘れ等)は未完成とし、審査はしない。
- ⑦帯は屏風たたみにする。

**競技用具の準備(選手が準備するもの)**

①黒留袖 ②帯 ③長襦袢 ④帯ヅ(平うち)、帯あげ ⑤ <u>末広(扇子)</u> ⑥控室用衣装敷(紙)
⑦風呂敷 ⑧ボディ
①小物付属品「肌襦袢・衿芯・裾よけ又はワンピース型肌着・腰ひも(布製)・伊達巻き(2本) 帯枕・帯板・クリップ・ボディ修正用具(綿花、タオル、さらし又はガーゼ)」
①裁縫道具一式